

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.11

令和5年2月発行



社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設

「みちのく療育園メディカルセンター」
〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの
〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所「あさあけの園」caféあさあけ

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」
電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826
紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所「新生ホーム」

・室岡ホーム・見前ホーム・中島ホーム・第二中島ホーム
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

年頭あいさつ

社会福祉法人新生会 理事長 阿部 肇 男



令和5年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様方には、日頃より当法人の事業運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、依然としてコロナ禍による社会情勢に影響を受けた年となりました。当法人におきましても残念ながらクラスターが発生し、利用者ならびにご家族の皆様方にご心配とご迷惑をおかけしたところ です。

国内での感染者確認から4年目となり、国等では新型コロナウイルスへの対処法やコロナ禍における社会活動について次の段階への検討を始めているようです。当法人といたしましては、これまで第一としてきた利用者皆様

方への安全・安心な生活・活動の提供及びその継続を基本とし、ご期待に沿えるよう役職員一同、精一杯努力して参ります。これまで同様、皆様方のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

さて、今年には昭和58年4月1日に重度身体障害者授産施設として開設した「新生園」が40年目にあたり、同時に社会福祉法人新生会は創設40周年の節目を迎えます。昨今の社会状況から、関係する皆様方を一堂にお招きしての行事は難しいと考えますが、利用者・ご家族の皆様方と共に、そして多くの地域・関係の皆様方に支えられて歩んできた足跡から学び、次の一歩へとつなげる機会となるよう、思いを巡らしているところです。

新生園・新生会40年の歴史は施設のハード面においても同様です。施設設備の老朽化は避けられず、毎年修繕に要する費用が高んできております。同時に、現設備は利用者様の年齢を重ねることによるニーズの変化に追いつくことが困難となってきました。その結果として職員の業務上の負担にも繋がってきています。そうしたことから、新年度は現長期計画（令和3～8年度）の前期を総括し、後期には喫緊の課題の改善や時代のニーズに応じるための方策について具体的な計画を示すことができるよう検討してまいります。

結びに、年明けも依然として如何ともし難い不安要素が続いております。皆様方におかれましても、この一年を穏やかにお過ごしになられますようご祈念申し上げご挨拶いたします。

令和5年1月

先輩職員の「今」と 新卒職員の「これから」

今年度、新卒で入職したお二人と、先輩職員を交え、座談会を行いました。

先輩職員の「今」と新卒職員の「これから」について、語っていただきました。

参加職員の自己紹介

好きな事や趣味を教えてください

新卒職員

新生園 佐々木 駿 生活支援員

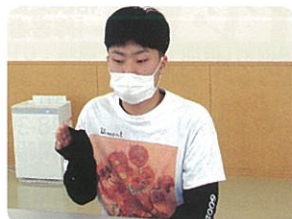
最近、弟が生まれたので一緒に遊ぶことと、これからの成長が楽しみです。

みちのく療育園メディカルセンター 高井 唯菜 生活支援員

韓国アイドルが好きでユーチューブでダンス動画などを見るのが好きです。他には、ゲームや筋トレを行っています。



高井 唯菜 生活支援員



佐々木 駿 生活支援員

先輩職員

しんせい 播摩 光一 相談支援専門員

第二新生園とみちのく療育園メディカルセンターで務めた後、現在はしんせいで相談支援専門支援員として勤務しております。キャンプが好きです。今は冬でキャンプに行けないので、最近はサウナで体と心を整えています。

あさあけの園 佐々木 三帆子 生活支援員

フェスやライブに行くことが好きです。最近はオタ活中です。

新生園 高瀬 清彦 生活支援員

趣味は、釣りや山登などいろいろです(笑)。外で身体を動かすことが好きで、一人で外をプラプラしてます。

新生園 小笠原 めぐみ 書記兼生活支援員

今年で勤続22年目になります。飼っている犬と触れ合う時間が何より楽しいです。私も、休日はサウナが好きでよく行きます。コロナが落ち着いたならライブなどにも行きたいですね。

新卒職員への質問

Q 社会人になって1年となりますが、 どうでしたか？

- 時間が経つのが早く感じます。覚える事もたくさんあって、一日一日がすごく濃く長く感じます。振り返ってみた時、1週間、1年があつという間に過ぎていく感じがします。
- 医療的な事が分からず、毎日学びが多すぎて必死に働いていたら、あつという間に時間が過ぎていきました。周りの職員さんの働いている姿を見ていると「すごいな」と思われることばかりです。まだまだ不安なことが多いですが、周りの人に助けていただき頑張っています。

Q 将来どのようになりたいですか？

- 相談支援に携わりたいです。まだ、資格や経験がないのでこれから頑張っていきたいです。
- 仕事を長く続けていけたらいいなと思いますね（笑）仕事に対するモチベーションを保ちつつ、これから役職に就いても辞めないように頑張りたいです。その為にも、コツコツやっていくことが大事だと思います。



先輩職員への質問

Q 働いていて目標はありますか？

- 所長や主任、講師の先生に対し、憧れを抱いたのがきっかけで今しんせいの相談員として働いています。そして、今憧れの方々の間近で一緒に仕事をし、場数を踏みながら、知識を付け、自分からどんどん皆さんに発信できる人になりたいです。
- 仕事をしていて、計画通りに進まないことや、その日その日で状況が変わったり、色々なことが起きますよね。なので、その分の余力を残すようにしています。常に7割で仕事をして、残りの3割は突発的なことに取っておくようにしています。
- 利用者さんとの信頼関係を築き、これからも、利用者さんのやりたいこと、出来ることの幅を増やしていきたいと思っています。

Q 年次休暇は取れていますか？

- なかなか取れないですね。休んでしまうと他職員に迷惑をかけると思うと。。。苦しい
- 事業所によって、年次の取りやすさは違ってきますね。
- 後ろめたさは感じてしまう時はありますが、自分が元気でいることは利用者のためだと割り切って、休む時には休むようにしています。
- 勤務体制上、取りにくくて取れない時もありましたね。入社したての時はなおさらでしたね。

Q 新生会に入職した理由はなんですか？

- 単純に家が近かったというのがありますが、高齢者施設でずっと働いていて、違うことにも挑戦してみたいと思ったのがきっかけです。
- 他法人の臨時職員として働いていた時、みちのく療育園で正職員の募集があり、同じ障がい者施設の応募があったのがきっかけです。
- 友人の紹介で入職しました。前職は介護とは全く無縁の仕事についていたため不安もありましたが、職場見学の際に、職場の雰囲気の良いさに魅かれ入職を決めたことを覚えています。
- 大学に通っていた時、ソーシャルワーカーや相談員を花形のように感じており、私もなりたと思っていました。ただそのためには、現場を知らないといけな感じて福祉相談窓口を訪れた際、時給の職場が多い中、第二新生園が月給での職員を募集しており、もう一択でした（笑）。選択肢が少なかったのですが、初めての職場が第二新生園で良かったと感じます。



『クリスマス会』開催

12月23日はホームごとにクリスマス会をしました。
「エコレストランあいのの」のオードブル、職員手作り
カップケーキ★

見た目も可愛くて利用者さんも喜んでいました。
サンタさんからプレゼントを貰って大満足でした(^.^)
コロナ禍でなかなか外での遊生会は出来ませんが
今、出来る事で利用者さんに喜んでもらいたいです。



共同生活援助事業所
新生ホーム

医療型障害児入所施設

みちのく療育園メディカルセンター

2022年最後のイベントは

クリスマス会

職員による生演奏♪

サンタさん福笑い

いろんな表情のサンタさんができたよー



ウクレレとピアノ、そしてフルートの
音色にうっとり♪

ドクターサンタさん&
ドクターナカイさんと
ハイチーズ♪



みちのく大社でお参り

新年を迎えまして、それではみちのく大社でお参りです♪



成人を祝う会



成人になったの決意表明もしました!!そして、家族からの
お祝いのビデオメッセージが届きました♡

おめでとうございます

書初めをしました

生活介護の皆さんは毎月様々な余暇活動を行っています。季節ごとの内容であったり、ドライブに行ったりと、コロナ禍ではありますが工夫を凝らして活動しています。

書初めは「一年の目標や抱負を決める」という意味があるようですが、皆さんは、2023年も素晴らしい年になりますように！と願いを込めて、思い思いの言葉を自由に書きました。さて、みなさんはどんな言葉を書いたのでしょうか？



毎日さけんでいる言葉です！

けんこうもだいじだけど…みんななかよくたのしく！



なんて書くの？

すぐに言葉が思いつき、スラスラと書いていました。



障害者支援施設 新生園

令和5年1月10日(火)、紅白幕で飾られた食堂にて成人をお祝いする会が催されました。新生園では数十年ぶりの開催ということで、当日の主演だけでなく、会

に参加されている利用者の皆さんも緊張した様子。でも、そんななかで新成人の利用者さんが『立派な大人になれるように頑張ります!!』と成人の仲間入りとしての抱負をしっかりと述べると、自然と皆さんの表情はほころんでいました。昼食では、大人になったお祝いということでワインゼリー(ノンアルコール)がデザートにつき、新成人にもっとパワーを！と用意されたカツカレーと一緒に美味しく召し上がっていただきました。



大忘年会

あさあけの園の一大イベント

「大忘年会2022」が今年も盛大に開催されました。
豪華景品をかけた大抽選会、ケーキを食べながらスライドショーを見て、楽しかった思い出を振り返りました♡
新たな作業にもトライした2022年
2023年はウサギのように飛躍する1年となりますように★



祝成人

令和5年1月10日、成人を祝う会が開催されました。
ネクタイと表情を引き締め、皆さんの温かい拍手に迎えられ、二十歳の抱負を発表。会終了後は緊張が解け、自然と笑顔がこぼれていました。



そうだ! 京都へいこう!

～お茶会体験～

例年バスで様々なところに出掛けていましたが、コロナウイルス感染防止のため、園内での代替え行事を企画しました。今回の内容は、京都旅行に行った気分が味わえる「お茶会」、利用者さんに着物を着てもらい、和菓子とお茶を味わい楽しみました。

障害者支援施設 第二新生園



あらためて 知りたい 性のこと

SNS等の普及により繋がることが身近になる中で、異性との交際や出会いによって性の被害を受けたり金銭的トラブルに巻き込まれる問題等が種々ある方の中にも見られています。こうしたできごとをきっかけに「あらためて知りたい性のこと」と題して勉強会を企画致しました。
講師に佐藤卓様をお迎えして、現在の性を取り巻く問題について皆さんと考えていただければと思います。

【講師】 佐藤卓氏
岩手県男女共同参画センター職員
日本思春期学会性教育認定講師
いわて思春期研究会副会長

Zoomによるオンライン開催
2月22日(水) 10:00~11:30

紫波地域相談事業所会議にて

☆お問い合わせ先

紫波地域障がい者基幹相談支援センター

019-601-2805 (月~金 8:30~17:15)

※申し込みについては裏面をご覧ください。

紫波地域障がい者基幹相談支援センター 主催

12月21日のふれあいミーティングで「あらためて知りたい、性のこと」と題して研修が行われました。(ふれあいミーティングとは、紫波町社会福祉協議会のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が立ち上げた多職種での情報共有や地域の支援課題などを話し合う集まりです。それぞれの活動や情報を共有することでよりよい支援につながるのではないかと、一人より皆で、ということで月1回行われています。当センターも平成30年から参加しています。

日頃、課題と感じていることを話し合うなかで「障がいがある方は性被害に巻き込まれやすいこと、さみしさや居場所を求めてSNSでのトラブルも多いこと」を共有し、「支援者も性のことってよく知らないよね、まずは皆で勉強しよう」ということで、岩手県男女共同参画センターの佐藤卓様による研修が企画されました。

当日は近隣の事業所や行政の職員、町の議員さんも集まって学びました。知ることは新たな力になり、学びの

機会があるのは支援をしていくなかで大切だと感じています。

そして今回、2月22日に行われる相談支援事業所会議でも佐藤卓様による性についての研修を行う事となりました。(詳しくはチラシをご覧ください。)様々な分野の支援機関のみなさんにも参加を呼び掛ける予定です。

HIKARE ~光れ~ インフォメーション

caféあさあけ

年間売上ベスト3
の発表です

外サク中フワが
人気の秘訣?

メロンパン
¥150

生クリームを
練りこんだ
じつどりの生地が
魅力的

黄金ロール
¥220

たっぷりチーズが
うれしい
完熟トマトフオカッチャ
¥200

エコレストラ
あいのの

2023

ひな祭りイベント

3月3日(金)

女性の方

日替わりランチ 550円(税込)

出来る限りの安心価格で!!
出来る限り地元の食材を!

あいののオリジナル

石窯焼き!
岩手県産「ゆきちから」100%使用!
テイクアウトOK!!

800円~
(ミニサイズ450円~)

- ▶ トマトピザ
- ▶ みそきのこピザ
- ▶ チーズピザ
- ▶ カレーピザ
- ▶ セミドライトマトピザ
- ▶ じゃがいもカリカリピザ

ピザテイクはいかがですか♪



令和4年度 全国社会福祉協議会会長表彰

今年度の受賞者に新生園 室岡宏政職業指導員が決まり、1月20日法人本部で伝達式が行われました。理事長から表彰状を受取った後、室岡職業指導員から「受賞は多くの役職員の支えと利用者さんのお陰です。これからも新生会のためにがんばっていきます。」とあいさつを頂きました。





開設当初の相談役

師走としては穏やかに感じられた令和4年12月30日、午前9時33分、当法人創設者（相談役）の藤原清司氏が102歳の天寿を全うしこの世を去られました。

年明けの1月7日（土）、当法人と藤原家との合同葬がしめやかに執り行われました。コロナ禍にあり、ご案内は関係者のみとさせていただきます。

ここに縁のある方々からの哀悼の一部を紹介し、葬儀の様子をお伝えいたします。

哀悼の辞は、阿部理事長の式辞に始まりました。畳床製造業を家業としていた故人が60歳を過ぎてから社会福祉法人という全くの“無”から“有”を創りあげるまでに至った経緯と労苦の足跡を振り返り、その行動力で示された障がい者福祉への思いの継承を誓いました。

弔辞で高橋矢巾町長様は、相談役が矢巾町議会議員を務めたことや相談役が掲げた理念「輝く命」のもと当法人が町の社会福祉行政に大きく貢献していることを称えました。

元理事長の村松正夫様は、若き頃相談役と一緒に卓球をしたエピソードに触れながら、自分が勝つまでやめない負けず嫌いの一面があり、事業の立ち上げに限らず、何事にも向かっていく故人の姿勢を懐かしみました。

利用者家族を代表して照井始第二新生園家族会会長様は、どちらかというと言わなければならない障がいの重い子どもたちを受け入れていただいたことで家族それぞれが自分の生活を送ることができたと、感謝を述べられました。

また、熊谷みを子元あさあけの園施設長は、故人が理事長時代、第二新生園の施設長を務めたが、その兼務は認められないとの指摘を受けると、理事長を辞し、70歳を過ぎたにも関わらず自費で施設長資格取得に取り組んだ当時を偲び、長期研修修了時には受講生を代表して修了証書を受けたとのエピソードにも触れられました。

最後に、吉田洋治相談役（元県議会議員）様が、スポーツ大会で知り合った当時岩手県愛護協会会長であった故人から、医療型福祉施設の立ち上げについて相談を受けた際のことを語りながら、計画実現に向けた行動力と実行力について振り返っておられました。

火葬や会場にご会葬いただいた皆様のほか、供花、弔電、メッセージ等いただいた皆様方に紙面をお借りし、改めて御礼申し上げます。



2023年が始まりました。今年は「卯年」です。卯年には「飛躍・向上」の意味があると言われています。また新しい事に挑戦するのに最適な年とも言われています。新生会は今年40周年を迎えます。これからも利用者様・職員と共に飛躍、向上する心を持ち続けて行きたいと思っております。今年も新生会をよろしくお祈り致します。